

宮崎県在京経営者会議だより

第6号

宮崎県在京経営者会議
発行責任者/高山弘憲
事務局/佐土原正和
〒104-0084
東京都千代田区二番町5-7
JP本社ビル内
TEL.03-3265-2911
FAX.03-3265-1109

会長の挨拶

宮崎県在京経営者会議会長

高山弘憲



今年度も半ばになります。この間役員及び会員皆様方の積極的なご支援とご協力、また県をはじめ在京県人会及び宮崎産業活性化協会など多数の方々から格別のご指導とご鞭撻を賜り、お陰をもちまして当会議の事業運営も順調に推移して参りましたことを、先ずは謹んでご報告申し上げます。そして、深く感謝申し上げます。

改めて申し上げますまでもなく、当会議はこれまで、ふるさと宮崎の観光と物産の振興と支援や子弟の求人求職活動の支援等地方活性化の一翼を担うとともに、会員相互や郷土経営者との交流・親睦を通じて事業機会の発掘や企業家精神の涵養等に努めてきました。が、年央にあたり思いを新たにすため、これに囚われないで、

地方経済の自立活性化については言われて久しいわけですが、目下のところは三位一体の改革にしろ地方分権の強化等にして、構造改革の最中であつて掛け声のみが先行し、中々実体が形成されないのが実情のようです。ただ言えることは、

これからは公共事業への依存とか産業誘致とか他力本願は通用しなくなり、地域が産業を育成する方向に向かわざるを得なくなるのではないのでしょうか。私達はその意味で、これからは地域産業育成の先兵として首都圏需要開拓の支援に二層の努力傾注が必要となるのではないのでしょうか。

経営環境に関しては、私もはご多分に洩れずデフレ不況下に呻吟しているわけですが、このところアメリカ経済の景気回復もあつて漸くデフレ脱却の兆候が現れつつあるのは喜ばしい限りです。しかしこれを持続的成長の軌道に乗せるためには、政権政党が既得権益擁護体質を改め真の国民政党に自己革新し、所期の構造改革路線を貫徹して行かなければならないと私は考えています。皆さんはいかがでしょう。

いずれにしても、これから内外の環境がだんだん厳しくなっていくことだけは確か

就任あいさつ

宮崎県知事 安藤 忠恕



私は、7月の知事選挙において、県民の皆様のご支持をいただき、県政を担当することとなりました。現在のような大きな変革期に、県政運営を担当させていただきますことは、身に余る光栄であるとともに、その責任の重大さを痛感しているところであります。

私の県政運営の基本理念は、当然のことながら「県政の主役は県民である」ということであり、この行政の原点に立ち返り、県と市町村が対等に関係に立ち、民間との役割分担を明確にし、県民の皆様との対話を基本姿勢とする、「躍動感あふれる、開かれた明るい県政」を築いてまいります。

治体への転換を目指した新たな取り組みが迫られております。今と言う時代は、地域の「強み」を生かしながら地域間競争に勝ち抜き、地域として「自立」していかなければならないという厳しい時代であると認識しております。

幸い本県は、日本人の原風景とも言える心やすらぐ自然に恵まれております。また、神楽などの伝承文化が県内各地に色濃く受け継がれてきております。これらは、心の豊かさや癒しが求められる中で、貴重な地域資源として、ますます価値あるものとなってきております。

また、県内には、高い目標を掲げて自ら汗を流して努力され、成果を挙げておられる個人や企業の方が大勢おられます。市民団体やNPOなどの意欲的な団体も育つてきております。さらには、皆様方のように県外から宮崎の発展の応援していただける多くの方々にも恵まれております。私は、これらのいわば宮崎の「宝」・潜在力にさらに磨きをかけることにより、新しい宮崎発展への道筋を切り開いていくことができると確信いたしております。

このような考え方に基づき、「みやざきらしさの発揮」を施策の基本として新たな県政

退任のごあいさつ

前宮崎県知事 松形 祐堯



顧みますと私は、県民の皆様温かい御支援を得て、昭和54年8月に、宮崎県知事の大役を担うことになりました。以来、私は「県政は県民の皆様との共同作業である」との信念のもと、「対話と協調」の基本に、県勢の発展と県民福祉の向上のため、1期1期を大事にし、県政運営を行なつてまいりました。

また、私の県政運営の目標は一貫して変わりなく、「親子・孫三世代が、お互い県内に住んで、家族の温もりを感じながら、豊かに暮らせる宮崎づくり」であり、その実現を目指して、就任以来、全力で取り組んでまいりました。

その間、本県の大きな課題でありました港湾や空港、高速道路等の交通網の整備に取り組みとともに、宮崎学園都市や総合文化公園の建設などのプロジェクトも進め、また、世界レベルで陸上競技大会やサミット外相会合など

の世界的なイベントも成功を収めることができました。今、改めて宮崎県を眺めてみますと、県民の皆様とともに進めてまいりました諸産業の振興やそれを支える陸・海・空の総合交通網の整備、医療・福祉、教育・文化の充実など、県勢発展の基盤が整備され、あえて申し上げれば二十世紀から二十一世紀への橋渡しの役目を担うことができたのではないかと考えております。これもひとえに、在京経営者会議の皆様をはじめとする多くの方々の御理解御協力の賜であり、改めて御礼申し上げます。

これからは、「県民として郷土宮崎の発展のため、微力を尽くしたいと存じますので、今後とも、県政に対する御支援と変わらぬ御交誼を賜りますようお願い申し上げます。皆様御活躍とご健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。十分に意を尽くせませんが退任の御挨拶と御礼とさせていただきます。

求人・求職相談会

部会長 山中 祥弘

平成12年度からスタート致しました当会の活動も、今年で4回目を迎えました。今年度は当初から昨年より2ヶ月早く開催を目標にし実施致しました所、大学・高校の参加21校、参加企業は会員、協力企業を含め15社の参加の申込がありました。会費は六本木ヒルズのハリウッド美容専門



も評判が良いと伺っております。今年も高校生の就職活動は9月16日からスタートしており、7月末現在の来春入社者の求人倍率は昨年同期はわずかに上回ったものの0.53倍とほぼ二人に二つしかない厳しい状況にあります。県内の大学・高校の就職担当者からの本会への期待は年々高まってきております。県内の大学・高校生が一人でも多く内定できますよう会員、又協力企業の皆様のご支援を重ねてお願い申し上げます。

宮崎県の声

宮崎県教育庁学校教育課職業教育係
指導主事 鶴田雄一

学校で行なわれ、主催者であります高山弘憲会長、山中祥弘求人・求職相談部会長の挨拶、宮崎県教育庁学校教育課職業教育係指導主事 鶴田雄一様の挨拶の後、参加企業・学校による自己紹介を行ない個別相談会に移り時間をオーバーして熱心に質疑・応答がなされておりました。

弊社は、1925年(大正15年)に有限責任北海道製酪販売組合として、日本で最初にバターの製造・販売を始めた。約80年の様々な歴史を経て、現在はバターに加えて、チーズやマーガリンなどの製造・販売を中心とした乳製品の専門会社となりました。現在、バター、チーズ、マーガリンは、いずれもトップシェアを維持しており、多くのお客様にご購入いただいております。事業所は、本社のある東京をはじめ全国に10工場、23支店を配置しており、宮崎県には都城市内に工場があり、宮崎市内に営業拠点があります。



雪印乳業(株)
代表取締役社長 高野瀬 忠明

「雪印乳業行動基準」を定め、社員の守るべき行動の基準を示し、企業倫理の徹底を図っております。

今春の新商品は「バター仕立てのマーガリン」切れてるチーズ&チーズ」「コクとうまみの6Pチーズ」「ビールにチーズ」など、おかげさまでいずれも好調な売れ行きが続いております。秋の新商品では「コクと香りの北海道バター」(※左の写真)を発売いたしました。北海道産の生乳を原料にした、豊かなコクと香りを楽しめる、口どけ軽やかな酪鉄構などが広がっています。

川崎重工(株)

代表取締役社長 田崎 雅元



川崎重工の技術の歴史は、百年を超えました。造船では、じまった事業は、今日、航空機、鉄道車両、二輪車、船舶、ガスタービン、機械、各種プラント、鉄構など、文字通り陸・海・空に広がっています。

●地域分散型発電の担い手として、自社開発ガスタービンを組込んだコージェネシステムが全国各地に納入されています。

●"Kawasaki"ブランドの二輪車や、水上レジャーの花「ジェットスキーOR」は、世界中で親しまれています。

●川崎造船では、世界最大級のLNG船を相次ぎ建造。博多―釜山を結ぶ超高速旅客船「ジェットフォイル」も大活躍です。

川崎重工は、国内外に百を超える連結子会社をもつグループの中核企業です。連結売上高は約一兆二、四〇〇億円、従業員数は約二万八、六〇〇人を数え、先進技術を追求め続ける企業集団として、グローバルな活動を展開しています。

第2部の参加者全員による懇親会にはいつからも学校と企業側との情報交換は続いていようです。今年の特色は企業誘致により宮崎県内に進出された企業の参加があり学校側としても関心が高い様子が伺えました。会員企業のご協力により、就職内定者は年々増加しており、過去3年間で21名が決定し、それぞれの企業で中堅社員として活躍されていると伺っています。宮崎の社員は真面目で素朴でよく働くと採用側から

今年1月に市乳事業が分社化し、新しい雪印乳業がスタートするにあたり「企業理念・ビジョン」を発表させていただきます。企業目標を「私たちが雪印乳業はおお客様の『おいしい笑顔』のある暮らしに貢献します。」と定め、お客



幅広い製品群のなかから、いくつかをご紹介しますと……

- ドーバー海峡海底鉄道トンネルの掘削では、当社製の掘削機が、威力を発揮しました。
- 札幌ドームでは、八、三〇〇トンの天然芝サッカーフィールドを空気浮上方式で屋内外に移動させています。
- 日本連合で受注した台湾新幹線プロジェクトでは、車両三六〇両の生産が始まります。
- 人命を救うドクターヘリと

Kawasaki
www.khi.co.jp
川崎重工

企業紹介

マースジャパン(株)

代表取締役 笠原 紀夫



片仮名の社名では何を生業にしている会社か分からないだろう。マースとはマーケティングのMARとセールスサポートのSとSをつけてMARSS JAPANとした。近年注目されているアウトソーシングビジネスのなかで、商社・メーカーの「営業と販売促進活動」のみを企画・立案・実施する会社である。会社創業から38年余を経過して、日本のアウトソーシングビジネスの先駆者的存在となっている。

現在、日本の七大都市に営業所を開設し、48都道府県に社員がいて、エリアマーケティングを実施している。社員は約100名余の正社員と800余名の男・女セールズ部員で構成されている。800余名の男・女セールズはほとんどが年契約社員、年俸契約社員である。この他短期的な営業と販促活動に従事する社員(アルバイト社員)が月間5000名余、年間で約6000名位が働いている。

マースジャパンの他に、アメリカ大陸ではニューヨーク州にMARSS・AMERICA・INCを設立し、ロサンゼルス市に営業拠点を有して、主に日本企業のアメリカ市場のマーケティング活動とセールズ

活動を遂行している。

近年著しい経済発展をとげている中国市場に日数多くの日本企業が進出し、商品の製造、販売を行っていているが、中国は広大な上に多くの民族や言語があり、その上商流、物流とも未成熟の為、多くの日本企業は悪戦苦闘している。商品を生産して、日本市場に輸出している企業がほとんどだが、最近経済成長の著しい中国市場・生活水準の上った中国人に対するマーケティングやセールズ活動を開始する日本企業もでてきた。その為、4年前に上海市に上海邁世商貿有限公司を設立し、「営業と販促活動」のアウトソーシング事業を始めた2003年8月現在、上海市に本社を、北京市に北京事務所開設し、中国人の男性・女性のセールズ部隊を養成し、現在では約400名程が働いている。中国市場を将来の有望マーケットと予測する外資系企業(勿論日本企業もはいるが)は続々と上海邁世商貿有限公司と契約を締結し、来年中には約1000名規模の陣容になる予定である。

マースジャパングループはこの他人材の教育トレーニングを行う「実践教育システム」インスタプロモーションやイベント、キャンペーンを企画・立案・実施する「ばんぶふさんはうす」を傘下に行っている。

アウトソーシングビジネスの中でも最も難しい領域といわれてきた「営業と販促活動」の専門的アウトソーサーとして、マースジャパンはますます発展、拡大をづづけているのである。

15年度新会員紹介

50音順



小寺 良明

小寺行政手続事務所 所長(行政書士)

●生年月日 昭和27年1月30日

●出身地 日南市

●趣味 ゴルフ、ドライブ、旅行

●推薦者 高山 弘憲

会社設立手続など役所に提出する許認可申請のプロフェッショナルとして、いつも皆様の「ご質問」にお答えできるよう頑張っております。よろしくお願ひ申し上げます。



中西 教夫

インターナショナルエクスプレス(株) 専務取締役

●生年月日 昭和18年9月20日

●出身地 都城市

●趣味 ゴルフ

●推薦者 河野 昭

上京して41年、現勤務先に入社して37年を経過しました。国内での勤務又、海外赴任等で、帰郷する機会に恵まれない状況が続いていました。故郷の皆様とお逢いできる場が得られましたので、嬉しく存じます。よろしくお願ひいたします。



深江 方次

代表

クラブジャパン

●生年月日 昭和14年7月11日

●出身地 串間市

●趣味 散歩、俳句、剣道

●推薦者 高山 弘憲、河野 昭

縁あつてお仲間。新橋で親睦、情報交換の場としてクラブを経営しております。皆様との集いを通じて少しでも郷里宮崎のお役に立てればと願っております。



村田 博文(旧姓津田)

社長兼主幹

●生年月日 昭和22年2月10日

●出身地 串間市

●趣味 ゴルフ、野良仕事

●推薦者 高山 弘憲

郷里を出て38年。「故郷は遠きにおいて思ふもの」の心境です。月曜から金曜まで東京で雑誌作り、週末は甲府の自宅で過ごし、野良仕事をやっております。よろしくお願ひいたします。



榎本 郁夫

取締役会長

(株)アセットマネジメント総合研究所

●生年月日 昭和10年4月2日

●出身地 延岡市

●趣味 読書、家庭菜園

●推薦者 河野 昭

県在京経営者会議の活動に感銘し、郷土の発展を願う気持ちから入会させて頂きました。現在、ベンチャー企業の支援・育成等に取り組んでいます。よろしくお願ひ申し上げます。



富高 克典

常務取締役

(株)財經詳報社

●生年月日 昭和29年1月23日

●出身地 高千穂町

●趣味 ウォーキング

●推薦者 興和 三男

田舎で暮らしたのが18年間、東京での生活が30年となりました。会社は、財政・金融・税務関係の図書を出版しております。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



旭化成ライフ&リビング(株) 代表取締役社長

能村 義廣

代表取締役

(株)ウチヨシ

●生年月日 昭和18年5月18日

●出身地 京都府

●趣味 草花の鑑賞

●推薦者 河野 昭、岡田 良

豊かな緑水、豊かな人情、そして豊かな恵光のある宮崎で仕事と人事に恵まれたことを大きな財産にして、今後も微力ですが、県の発展に尽くしたいと思っております。



五月共同法律事務所 弁護士

前田 裕司

●生年月日 昭和23年9月9日

●出身地 宮崎市

●趣味 山歩き、ゴルフ

●推薦者 河野 昭

これまで市民のための相談活動に従事してきましたが、来年4月から東京弁護士会が北千住に設置する公設事務所の所長に就任する予定です。



東京ココロラボトリング(株) 顧問

山口 迪郎

●生年月日 昭和16年11月19日

●出身地 日南市

●趣味 ゴルフ、囲碁

●推薦者 高山 弘憲

現在、経営の第一線を離れましたので、事業交流等ビジネス関連では会の目的に添えませんが、故郷の皆様と交流できることが喜びです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

平成15年度定期総会

第5回定期総会が、6月18日(水)千代田区のグラントアーク半蔵門で、宮崎県からの来賓、在京宮崎懇和会から多数の参加を頂き盛大に開催された。総会は議案書に基づき進行され平成14年度の事業報告並びに収支決算の承認を行ない、15年度の事業計画(案)並びに収支予算についても意義なしの元に確認された。松形祐堯宮崎県知事からの祝辞を、東京事務所・落合所長が代読され、同知事から県産品の振興と経済発展に貢献されたとして感謝状が贈呈された。

観光・物産振興部会

「宮崎日南物産展」

地区幹事 岡田良一

恒例の新都心新宿郵便局とタイアップした「宮崎日南物産展」は、昨年の延岡市に引きつづき、今年も9月24・25・26日の3日間にわたって実施された。在京経営者会議が宮崎県の地域活性化に、少しでもお役に立ちたいとの趣旨からスタートした。今回で5年目を迎える。日南市と経営者会議の共催行事である。当日は開催市の北川正典日南市長が来京、開店前集合した200数名の来店客を前にして、物産・観光の両面から日南をPRした。つづいて落合兼久宮崎県東京事務所長のテープカットで幕は開いた。



て郵便局側でも話題になっている。郵政本社サイドでも、地域の商工会や市と連携を図ることが地域貢献につながると期待している。物産展では「シャンシャン馬道中」はじめ宮崎民謡が披露されて、とくに早生の特産品みかん等に人気を集めて、来店客が薄皮のつぶの大きなみかんを試食する風景もあって好印象に終了した。

理事長山中祥弘・日南市出身の協力を得て、竣工した新校舎五階のハリホールに三百八十名を集めて盛大に実施された。後援宮崎県協賛宮崎県酒造組合連合会と相俟つて、当日よりスタートした恒例の日本橋高島屋の「みやざき物産展」と、呼応する形で大勢の焼酎ファンを集めた。今夏は冷夏現象もあって、各種アルコール飲料は苦戦を強いられ需要の落ち込みをみた。9月より実施された、酒類販売の実質自由化の波を乗り越えて、いまや本格焼酎は10年間に1.6倍に膨らんだ。とくに宮崎県の本格焼酎の躍進は目覚ましい。今後一層「宮崎の本格焼酎ブランド」作りが課題となってくる。県産酒の愛飲推進のためのファンづくりを進めようと、今回、県出身者はもちろん県外の友人知己の参加を求めた。

また在京経営者会議の5年間の活動に対して、宮崎県産業活性化協会と宮崎県酒造組合連合会の会長を兼務する中島勝美氏(雲海酒造)社長より感謝状が高山弘憲会長に贈られた。アトラクションとして、宮崎の特産物や、スカイネットアジア航空の無料往復航空券などの抽選会があり、さらに、宮崎出身の歌手宮園アキ子さんの歌などで、大いに盛り上がり喜びのなかで帰路についた。第16回日向自慢「みやざき展」(主催宮崎県物産振興センター、県観光協会は、9月10日から16日まで、中央区日本橋高島屋で実施された。神話、黒潮、太陽の三拍子揃った豊かに輝く「ひむかの国」の味と技を一堂に、食品、工芸関係会社95社が出展を競った。とくに今回は北ひむか特集コーナーを設けて、高千穂、延岡のおいしさを紹介。銘菓「やぶれ饅頭」(虎屋)五ヶ瀬の釜炒り茶二期



余興の部でのハワイアンショー

新宿郵便局は背後に、1日600万人が乗降するJR新宿駅をはじめ私鉄・地下鉄の要であり、新宿郵便局には1日1万人の利用客が来店する。都内屈指の郵便局である。前郵便局長の岡田敏男氏(佐土原町出身)と宮崎山下郵便局長渡辺俊明氏が、宮崎郵便局の同期であったことも幸として、高山弘憲会長と興梠三男副会長との懇意も重なって、物産展は回を重ね

新宿郵便局は背後に、1日600万人が乗降するJR新宿駅をはじめ私鉄・地下鉄の要であり、新宿郵便局には1日1万人の利用客が来店する。都内屈指の郵便局である。前郵便局長の岡田敏男氏(佐土原町出身)と宮崎山下郵便局長渡辺俊明氏が、宮崎郵便局の同期であったことも幸として、高山弘憲会長と興梠三男副会長との懇意も重なって、物産展は回を重ね

観光・物産振興部会

「大盛況であった本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」

郷土料理を楽しむ会

部会長 興梠三男

第2回「宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」(主催宮崎県在京経営者会議)は9月10日6時より、港区六本木ヒルズのフロントに位置する、ハリウッド美容専門学校(学長メイ牛山、校長ジエニ牛山、



親子三代で郷土料理を作っていた堀江泰子先生の御家族

当夜は中天に満月が浮かび、東京タワーと、ベイブリッジを眺める新名所にふさわしい会場を提供いただいたハリウッド美容専門学校に厚く感謝を申し上げます。

事務局だより

事務局長 佐土原 正和

当会も平成11年9月発足し満5年、今年度の事業計画の前半のメイン「宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」も昨年の倍の400名弱の参加があり堀江泰子先生の親子・孫と三代の腕による「自慢の懐かしい故郷の料理に、幼い頃を思い出され参会者の満足そうな顔を拝見していると事務局の準備の疲れも飛んでいってしまいました。10月は後半のメイン第3回の宮崎観光ビジネス交流会と宮崎県在京経営者会議の名簿作成の作業が控えております。事務の効率的運営を目指して努力致しておりますが会員の皆様には是非共回答・提出期限の厳守をお願い致します。又会員の皆様の年会費によつて運営されていますので会費についても、協力お願い致します。